

# 平成20年度「全国学力・学習状況調査」の結果 その2

12月号では、本町児童生徒の学力面の状況についてお知らせしましたが、今回は生活習慣・学習習慣の結果と具体的な取り組みについてお知らせします。

## 1. 学校外での学習時間

学習時間		平成20年度 (%)					
		月曜日～金曜日			土曜日・日曜日		
		全国	県	本町	全国	県	本町
小学校	①3時間以上	11.4	7.8	6.3	6.6	3.3	1.4
	②2～3時間	14.1	15.1	14.6	4.8	6.1	6.9
	③1～2時間	30.6	41.5	38.2	11.3	17.1	12.5
	④30分～1時間	26.3	24.3	25.0	29.0	38.4	43.8
	⑤30分未満	13.0	7.7	8.3	36.1	28.2	29.9
	⑥全くしない	4.5	3.6	7.6	12.2	6.8	5.6
中学校	①3時間以上	10.2	13.6	10.4	4.5	4.9	0.6
	②2～3時間	25.5	31.3	24.7	10.6	15.0	11.0
	③1～2時間	29.7	30.7	27.3	21.6	29.5	27.3
	④30分～1時間	16.7	15.3	24.7	25.6	29.0	31.8
	⑤30分未満	10.2	5.8	8.4	22.8	15.9	23.4
	⑥全くしない	7.7	3.3	4.5	14.8	5.6	5.8

- 小学校…家庭での学習時間の1時間未満が平日で全体の40.9%、休日で79.3%となっています。小学校6年生の学習時間としては、少ないようです。せめて毎日、1時間は学習時間の確保が必要です。
- 中学校…同じく中学校でも1時間未満が平日で37.6%、休日で61%となっています。中学生では少なくとも90分の学習時間の確保が必要です。

## 2. 月～金曜日のテレビやビデオ・DVDの視聴時間

	小学校 (%)			中学校 (%)		
	全国	県	本町	全国	県	本町
①まったくない	1.4	1.5	0	1.3	1.2	0.6
②1時間より少ない	9.6	9.4	12.5	9.8	10.8	11.7
③1時間以上、2時間未満	19.2	19.3	16.7	21.9	24.6	22.1
④2時間以上、3時間未満	23.7	24.2	27.3	27.2	29.6	31.2
⑤3時間以上、4時間未満	21.9	22.7	23.6	20.6	20.1	21.4
⑥4時間以上	24.2	22.7	19.4	19.0	13.6	12.3

- 視聴時間が、1日あたり3時間を超える児童生徒が小学校で43% (昨年比+1.7%)、中学校で33.7% (同±0) となっていて、このことが学習時間とも大きく関係していると考えます。家庭において、視聴番組や時間を決めるなどの対策が必要であると考えます。

## 3. その他の結果から

教職員を対象とした調査の中に、授業中の様子についての項目があり、本町の結果として「授業中の私語が少なく、落ち着いているか」の問いに「そのとおり」「どちらかといえばそのとおり」の回答が小学校で85.8%、中学校では100%となっています。このことから、本町の児童生徒は、授業に対して真剣に取り組んでいるということが伺えます。

## 4. 結果から考えられること

本町の児童生徒の学力は、前回もお知らせしましたように学習したことはおおむね定着しています。しかし、個別指導の充実や少人数指導、習熟度別指導を充実しながらも、家庭での取り組みも充実していくことで、さらに伸びていく可能性があります。「わかった!」「できた!」という感動を授業の中で味わえるように、子ども一人ひとりが考え、表現し、考えを高め合う授業をさらに推進していきます。各家庭におかれましても、たとえば次のようなことに取り組んでみてはいかがでしょうか。

- ▶ 子どもが継続して取り組むこと、その子にとって必要なことを一緒に考えます。
  - 漢字を毎日5つ書く、計算ドリルを5問する、英文を5分間音読するなど
- ▶ 進んで家庭学習に取り組めるように、保護者としての取り組みを考えます。
  - 子どもの日記に励ましのコメントを書く、子どもの音読を聴く、子どもの学習中はテレビを消す（音量を小さくする）など
- ▶ 早寝・早起き・朝ごはんの実践
 

子どもは、大きな可能性をもって成長します。その可能性を見逃さずに、伸ばしていくことができるように、私たち大人が見つめ育てていきましょう。